

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 総 務 課	8805 農政事務人件費
	目	2	農業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		51,638	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	26,398	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	949	03 職員手当等	16,899	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	8,341	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	50,689	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	51,638

事業概要	農政業務に携わる職員の人件費
事業目的	農政業務に従事し、荒廃農地対策、伯州綿栽培、就農支援等を行っている。
現状、背景	商工農政課職員の人件費
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	20 総 務 課	8979 水産事務人件費
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		24,938	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	12,790	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	8,039	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	4,109	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	24,938	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	24,938

事業概要	水産業振興に携わる職員の人件費
事業目的	水産業振興に従事し、魚食普及や観光との連携PR活動、渡漁港の維持管理業務等を行っている。
現状、背景	水産課職員の人件費
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8305 農業委員会運営費
	目	1	農業委員会費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		4,785	01 報酬	4,188	11 需用費	87	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	147	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	1,085	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	208	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	3,700	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	145	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	10	20 扶助費	0	計	4,785

事業概要	農業委員会は、その主たる目的である「農地等の利用最適化の推進」を中心に、農地法のに基づく農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申など、農地に関する事務を執行する行政委員会として各市町村に設置されている。
事業目的	担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進を図る。□また、鳥取県農業会議、鳥取県農業農村担い手育成機構及び他市町村農業委員会等と連携協力して、農地制度や農業政策等の改善を求めている。
現状、背景	今後の地域農業振興のためには、優良農地の確保と担い手の育成が必要不可欠である。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8306 国有農地管理事務費
	目	1	農業委員会費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		25	01 報酬	0	11 需用費	23	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	2	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	25	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	25

事業概要	国有財産（国有農地）の賃借料等の徴収、送金など管理事務を行う。
事業目的	国有農地の管理及び賃借料等の徴収、送金を行う。
現状、背景	国有農地は鳥取県が管理しており、売り渡し、貸付けが進められている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8307 農業者年金事業
	目	1	農業委員会費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		108	01 報酬	0	11 需用費	84	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	24	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	108	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	108

事業概要	農業者年金への加入推進を図り、年金事業の円滑な運営に資するとともに、被保険者、受給者等からの各種相談に応じる。
事業目的	農業者年金の被保険者、受給者からの相談窓口となる。また全ての農業者が安定した老後生活を送ることができるよう、制度を普及し加入へ導く。
現状、背景	農業者年金は、農業者の老後の安定した生活を助ける国の政策年金である。農業者年金基金では、平成３０年度から「加入者累計１３万人早期達成３カ年運動」を実施し、加入者の確保に取り組んでいる。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8694 鳥取県農業委員会会長協議会負担金
	目	1	農業委員会費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		14	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	14	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	14	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	14

事業概要	鳥取県内の農業委員会会長によって組織される、鳥取県農業委員会会長協議会への負担金□
事業目的	県内の農業委員会会長相互の連絡協調により農業委員会業務を円滑に遂行するとともに、県や国に陳情等を行い、農地・農業施策の改善を図る。
現状、背景	東京で行われる全国大会等に参加、国会議員への陳情や意見交換を行っている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8695 鳥取県西部地区農業委員会会長協議会負担金
	目	1	農業委員会費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		4	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	4	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	4	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	4

事業概要	県西部地区の農業委員会会長によって組織される、鳥取県西部地区農業委員会会長協議会への負担金
事業目的	県西部地区の農業委員会会長の連絡協調のもとに、農業者を取り巻く諸問題を調査研究し、市町村農業委員会の活動を強化する。
現状、背景	全国農業委員会会長代表者集会への参加、国会議員への陳情のほか、研修会などを随時行っている。□
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8800 鳥取県農業会議会費
	目	1	農業委員会費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		60	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	60	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	60	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	60

事業概要	農業委員会ネットワーク機構である鳥取県農業会議の会費。
事業目的	県内の農業委員会が連携し、情報を共有することにより、農地・農業施策を円滑に執行する。
現状、背景	鳥取県農業会議は、県内の農業委員会活動に対する支援等を行う。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8807 鳥取県畜産推進機構賦課金
	目	2	農業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
	事業費	7	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	7	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	7	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	7

事業概要	鳥取県畜産推進機構への負担金。
事業目的	畜産に関する指導・調査・生産振興を行い、畜産の振興を図る。
現状、背景	畜産を取り巻く環境は、長引く景気低迷とデフレ経済下で、消費者に低価格志向が高まる中での配合飼料費や燃料費等のコスト高による採算の悪化、少子高齢化による後継者不足問題、ＴＰＰ参加での先行き不安等の課題が山積し、畜産農家は苦しい経営を強いられている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8311 市民農園管理費
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		340	01 報酬	0	11 需用費	144	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	196	24 投資及び出資金	0
	その他	310	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	30	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	340

事業概要	農地の賃借料、備品の修理費等市民農園の運営に必要な費用。
事業目的	市民農園での農業体験を通して、農業への理解を深める。□市民の交流の場とする。
現状、背景	現在、中浜、中野、竹内の3箇所に市民農園があり、多くの方に利用されている。
その他	長年の農園利用の間に、栽培に使用したネット、棒、ひも等の残骸や、未利用地の草の繁茂を押さえるために敷いた防草シートが放置され、草刈等の作業に支障をきたすなど、年間を通しての管理業務が困難になってきている。□利用者の協力を得て、区画整理やトラクターによる耕耘作業等を行い、管理しやすい仕組みを構築する必要がある。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8314 親子ふれあい農園事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		80	01 報酬	0	11 需用費	30	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	50	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	6	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	74	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
参加親子の申し込みが年々減少している ことや参加者が毎年固定されてきている 等の現状があり、事業場所を地域子育て支 援センターひまわり敷地内に移し、ひまわ り利用者の家族に気軽に野菜栽培を体験 してもらう場をつくる。一家族あたりの栽 培面積を小規模にして、参加しやすい環境 を整備する。			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	80

事業概要	市内在住の幼保等の子供を持つ家族を対象とし、野菜の植付から収穫までの農業体験を行う。
事業目的	家族で農業体験をすることによって食に対する理解を深める。将来の消費者である子どもたちに地元野菜の素晴らしさを伝える。

現状、背景	食の安全が注目される中、無農薬または減農薬で野菜を生産、食することにより、子どもの食育に寄与している。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8315 有害鳥獣捕獲事業補助金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		534	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	178	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	356	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	534	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	534

事業概要	有害鳥獣による農作物被害を防ぐため、箱ワナ及び猟銃による捕獲駆除を行う者に対して補助金を交付する。
事業目的	カラス他有害鳥獣による農作物被害を防ぐため。
現状、背景	カラス他有害鳥獣が、市内で農作物に被害を与えている。□特に被害の大きい中海干拓地においては、市が農業者と協力し、防除できる態勢を構築している。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8317 遊休農地利用促進対策事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		168	01 報酬	0	11 需用費	125	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	36	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	3	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	165	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	7
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	168

事業概要	遊休農地の適正な管理を行い、景観の保全に努める。
事業目的	一般財団法人境港市農業公社が中間保有している農地等の草刈りを行うことにより、遊休農地の適正管理と景観の保全を図る。
現状、背景	一般財団法人境港市農業公社の借り受けている農地の中には、長期にわたり借受け希望が無いものもあり、現在の利用権設定期限が到来するまでの間、適正に管理する必要がある。また、遊休農地を適正に管理しようとする者に対し、刈払機の貸し出しを行っている。□
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8318 農業経営基盤強化資金利子補給金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		45	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	22	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	23	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	45	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	45

事業概要	認定農業者が借り入れた農業経営基盤強化資金の利子を助成する。
事業目的	農業経営基盤強化資金の利子を助成し、経営の安定化を図る。
現状、背景	農業経営基盤強化資金は資金使途が広いため、認定農業者からの需要が多い。
その他	・認定農業者については、平成２４年度新規貸付分から、利子補助金は（財）農林水産長期金融協会が全額負担することになっている。 よって、認定農業者については、平成２４年度以降の新規貸付については、市町村負担（県も）はない。□・①岡野農場②辻仁徳③河岡年行の３件が終了したら補助事業終了（※平成３３年度終了予定）

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8319 農地賃借料助成事業補助金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		770	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	770	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	770	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	770

事業概要	新規就農者の就農初期の農地賃借料の負担軽減のために農地賃借料を助成する。
事業目的	生産基盤が不十分な新規就農者の負担軽減を行い、農業の新たな担い手を育成する。
現状、背景	本市の新規就農者は近年減少しており、担い手確保のための支援策として非常に有効である。
その他	計画の認定を受けた新規就農者に対し、就農開始から 5 年間農地賃借料を公社単価を限度として助成する。年間上限は 1 人 20 万円。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8321 緑肥作物作付推進事業補助金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		434	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	434	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	434	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	434

事業概要	白ねぎの連作障害緩和のために作付けされる緑肥作物の種子購入費の補助
事業目的	連作障害を緩和し、農作物の生産の安定及び品質の向上を図る。
現状、背景	白ねぎは同じ農地で作付を連続して行くと連作障害が発生するおそれがある。そのため、緑肥作物により連作障害の緩和、地力の増進を図る必要がある。
その他	鳥取県の特産物である白ねぎに関して、ＪＡと協力して農家の負担軽減を図る。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8840 特産野菜産地維持対策事業補助金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		512	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	512	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	512	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	512

事業概要	白ねぎ病虫害防除薬の購入費に対する補助。
事業目的	特産野菜である白ねぎの指定産地としての地位の維持・発展を図る。
現状、背景	病虫害防除薬は年々改良されており、新薬剤の普及をする必要がある。また病虫害に耐性ができるため３年程度で薬剤を変更する必要がある。
その他	J Aと協力して補助を行うことにより、農家の負担軽減を図る。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	9192 就農条件整備事業補助金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,720	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	1,812	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	908	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	2,720	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,720

事業概要	新規就農者の就農初期の経営基盤整備の負担軽減を図るために、新規就農者が購入した機械・施設に対し助成する。
事業目的	基盤が脆弱な新規就農者に補助することにより経営の安定を図る。
現状、背景	新規就農状況□H22＝2人、H23＝0人、H24＝1人、H25＝0人、H26＝3人、H27＝3人、H28＝0人、H29＝2人予定、H30＝0人□
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	9501 農地適正管理費補助金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		23	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	23	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	23	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	23

事業概要	農地所有者が農地を適正に管理する費用について、標準的な開墾（草刈）費用の2分の1を限度として助成
事業目的	遊休農地所有者が業者等に草刈を依頼する際の費用を負担することにより、遊休農地の解消を図る。
現状、背景	従来、借り手のついた遊休農地については、農業公社が開墾費を負担していたが、農業公社の財政負担の軽減および公平性の観点から、所有者にも費用の1/2以上の負担を願うもの。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	9502 学校給食米栽培委託事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,790	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,790	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	1,083	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	707	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
栽培面積を１７アール増やし、１３２アールの水田で栽培を行うとともに、海藻肥料を使用した栽培に取り組む。			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,790

事業概要	一般財団法人境港市農業公社が遊休水田を借り受け、水稻栽培を市内農家に委託し、水田の不耕作解消と収穫された米を学校給食米飯用として利用する。
事業目的	水田の不耕作解消及び耕作水田の周辺環境を維持するとともに、収穫した米を学校給食米飯用に提供し、地産地消と食育を推進する。
現状、背景	中央墓園南側に広がる深田川沿いに広がる水田地帯の遊休化の阻止と稲作営農環境の維持が必要である。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	9702 伯州綿製品地産地消推進事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5,680	01 報酬	0	11 需用費	5,680	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	5,680	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	5,680

事業概要	・伯州綿を使用した製品を地域の新生児、高齢者に贈呈。（0歳：おくるみ、100歳：ひざかけ）（H23～）□・伯州綿を使用した和紙を製作し、表彰式・金婚ダイヤモンド婚記念式典の賞状用紙として使用。（H30～）
事業目的	・伯州綿を使用した製品を地域の新生児、高齢者に提供することで、安心、安全な伯州綿製品による「衣」の地産地消を推進、国産栽培綿の魅力を内外にPRし、他製品の販売促進につなげる。（新生児：おくるみ、100歳：ひざかけ）□・伯州綿を原料とする和紙を金婚式・ダイヤモンド婚式の表彰状・感謝状として使用し、より広い層に対して改めて伯州綿の周知を図る。
現状、背景	H21年度より(財)境港市農業公社において「伯州綿」を本格栽培。□H23年度に新生児、100歳高齢者に伯州綿製品を市からプレゼント。伯州綿製品の全国販売も開始。□伯州綿製品の販売については、首都圏、全国販売に加え、地元販売の商品を開発。□サポーター制度を充実させ、地域住民に栽培を支えてもらいながら、継続的に栽培できる体制を構築。
その他	伯州綿製品は農業公社で作成したものを購入し、贈呈・提供

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	9812 環境保全型農業直接支払交付金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		64	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	48	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	16	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	64	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	64

事業概要	地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、取組面積に応じた金額を交付する。□化学肥料の5割低減、国際GAP（農業生産工程管理）への取り組み等が要件となる。
事業目的	地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援することで、農業分野の有する環境保全機能を一層発揮させる。
現状、背景	農業の持続的発展のためには、食料供給の観点のみならず、国土保全、水源かん養、自然環境保全等の多面的機能が発揮されることが必要となっている。 また、この多面的機能がもたらす利益は広く国民全体が享受している。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	9813 経営所得安定対策等推進事業補助金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		278	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	278	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	278	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	278

事業概要	経営所得安定対策等における申請書類の受付、作付確認等の事務を行う農業再生協議会に対し、そのために必要となる経費を補助する。
事業目的	経営所得安定対策等の推進を補助し、本市農業の振興を図る。
現状、背景	販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物が多いのが現状であり、経営所得安定対策等によってこれらの産業としての持続性を回復させることが必要である。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	9901 有害鳥獣等捕獲事務費
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		311	01 報酬	0	11 需用費	5	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	306	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	311	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	311

事業概要	有害鳥獣や野生動物を捕獲する際に必要となる軍手、消毒用品、捕獲用具等の購入費、及び有害鳥獣捕獲事業で捕獲した有害鳥獣の処分手数料。
事業目的	有害鳥獣や野生動物の被害があった場合又は発見された場合に連絡を受け、現地に出向いて、有害鳥獣等の回収を行う。その際に必要となる捕獲用具等を購入するため。□有害鳥獣捕獲事業で捕獲した有害鳥獣を焼却処分するため。
現状、背景	有害鳥獣、野生動物の被害、発見はいまだに多くみられる。今後とも現地に出向き、回収をする必要がある。□中海干拓地での有害鳥獣被害は特に多いため、有害鳥獣捕獲事業で個体数の減少を行っている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	9903 人・農地プラン更新事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		522	01 報酬	0	11 需用費	510	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	12	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	261	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	261	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	522

事業概要	今後の地域農業のあり方を示す人・農地プランを策定・更新するため、地域の農業者との話し合い、合意形成、有識者への意見聴取等を行うにあたっての事務的経費。
事業目的	人・農地プランを策定・更新し、これを柱に関連施策を強化し、長期にわたって継続的に実施することにより農業政策の根幹をなす「人と農地の問題」の解決を図る。
現状、背景	農業就業者の高齢化や耕作放棄地の増加等、地域農業を取り巻く状況が厳しい中、人・農地プランをベースに認定農業者や新規就農者等の中核的担い手の育成を図り、力強い農業構造を構築していく必要がある。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	9908 農業次世代人材投資資金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		6,750	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	6,750	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	6,750	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	6,750

事業概要	人・農地プランにおいて位置付けられた原則４５歳未満の独立・自営就農者について、就農直後の経営確立のために、使途を定めない資金を交付する。
事業目的	経営開始直後の所得確保による、青年就農者の就農意欲の喚起と定着の促進を目指す。
現状、背景	農業従事者の高齢化進む中、青年新規就農者数（定着ベース）を倍増させ、世代間バランスの取れた農業就業構造にしていけることが必要であり、平成３５年度までに４０代以下の農業従事者を４０万人に拡大することを政策目標とされている。
その他	平成２９年度から青年就農給付金→農業次世代人材投資資金に変更。平成２９年度以降の採択者から交付終了後の営農継続を要件化され、営農を継続しない期間分の交付金について返還規定が設けられた。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	9921 機構集積協力金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		670	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	670	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	670	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	670

事業概要	担い手農家等への農地集積・集約化を図るために、交付要件を満たし、農地中間管理機構に農地を貸し出した農地所有者等に対して、機構集積協力金を交付する。
事業目的	担い手農家等への農地の集積や農地の連坦化を促進する。
現状、背景	鳥取県では、農地中間管理機構として（公財）鳥取県農業農村担い手育成機構が農地中間管理事業を行うが、同機構への農地を貸し出しを促進するため、農地所有者等に対する支援する制度が措置されている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10202 弓浜緋及び伯州綿製品販売・PR事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		192	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	192	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	192	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	192

事業概要	J A鳥取西部が水木しげるロード沿いにて運営する店舗の一角において、弓浜緋及び伯州綿製品を販売、PRするため、J Aが支払う家賃の一部を負担する。
事業目的	年間200万人の観光客が訪れる水木しげるロードにおいて、県内外及び外国人観光客に対して弓浜緋、伯州綿製品を販売、PRする。
現状、背景	弓浜緋、伯州綿については、「ここ」という販売店舗がなく、数多くの観光客にPRできる水木しげるロード沿いへの店舗出店を計画していたところ、同じく出店を計画していたJ A鳥取西部とのコラボレーションが実現した。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10226 遊休農地利用促進対策事業補助金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		433	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	433	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	433	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	433

事業概要	一般財団法人境港市農業公社が借り受けている農地の適正管理経費を助成する。
事業目的	一般財団法人境港市農業公社が借り受けている農地を適正に管理し、景観の保全と併せて借り受け希望者があった際に、直ちに斡旋できるよう、管理経費を助成する。
現状、背景	一般財団法人境港市農業公社の借り受けている農地の中には、長期にわたり借り受け希望が無いものもあり、現在の利用権設定期限が到来するまでの間、適正に管理する必要がある。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10339 農地中間管理業務受託事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,278	01 報酬	0	11 需用費	223	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	20	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	269	14 使用料及び賃借料	33	24 投資及び出資金	0
	その他	2,278	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	1,733	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,278

事業概要	農地中間管理事業を行う農地中間管理機構の業務の一部を委託を受け、相談窓口や、農地出し手との交渉などを行い、担い手農家への農地集積化等を図る。
事業目的	農地中間管理事業を行う農地中間管理機構の業務の一部を委託を受け、農地の利用効率化、担い手農家への農地集積化等を促進する。□
現状、背景	鳥取県では、鳥取県農業農村担い手育成機構が農地中間管理機構として指定され、農地中間管理事業規程により、業務の一部（相談窓口、出し手との交渉、借受予定農用地等の位置・権利関係の確認など）が市町村等に委託されている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10366 地域おこし協力隊推進事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		8,696	01 報酬	3,984	11 需用費	774	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	139	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	400	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	577	14 使用料及び賃借料	2,075	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	8,696	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	747	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	8,696

事業概要	県外の人材を積極的に誘致し、本市の伝統的地域資源である伯州綿の栽培、PR活動、商品企画・開発・販売等の活動を通じて、外部の人材の当地域への定着を図る。
事業目的	県外の人材を積極的に誘致し、その定住化・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図る。
現状、背景	平成30年度予算では2名体制を予定。平成31年度も同様とする。
その他	平成30年度は、平成29年度採用の職員1人のみで、新規隊員の応募・採用がなかった。□農業公社職員葉1人栽培人員の不足は、農業公社で繁忙期（10月～11月）のみ臨時職員を雇用し対応。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10501 ネギ黒腐菌核病緊急防除支援事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,101	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	546	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	555	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
H30 年度は生育期防除の県予算が削減されたが、米子市と境港市は市単独で補助を継続した。H31 年度は県予算において、生育期防除の復活要求がされているところ。県予算の動向をふまえ、市予算においても、生育期防除部分の補助を継続するか検討が必要。			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	1,101	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,101

事業概要	米子市弓浜部を中心に感染が広がっている白ねぎの黒腐菌核病について、拡大防止のための発生防止策（土壌消毒、生育期防除）を実施。H27 年度に県、市、JA 鳥取西部で「黒腐菌核病緊急防除支援事業」を創設。H28,29 年度は県園芸産地活力増進事業、H30 年度は県戦略的園芸品目（白ネギ）総合対策事業として実施。
事業目的	黒腐菌核病発生圃場において、緊急防除対策を行って菌密度の低減と本病発生を抑制し、生産安定と生産者の営農意欲及び産地の維持・向上を図ることを目的とする。

現状、背景	白ねぎの黒腐菌核病の感染が米子市弓浜部を中心に広がっており、白ねぎ農家に深刻な被害をもたらしている。H27 年度から補助事業が始まっているが、発生面積に一定の減少は見られるものの、病原は潜在的に畑に存在しており、発生防止策は継続して行う必要がある。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10525 親元就農促進支援交付金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,900	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	1,266	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	634	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	1,900	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,900

事業概要	認定農業者等が、将来経営を移譲する予定の3親等以内の親族に対して、研修を実施する場合に交付する。□100千円/月。最長2年間。
事業目的	認定農業者等、地域農業の担い手として位置づけられる農業経営体の親族の当該経営体への就農を促進し、農業経営の継続的な発展と地域農業の担い手としての定着を図ることを目的として交付。
現状、背景	農家の後継者不足を受け、交付金は後継者育成のインセンティブとなる。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10611 がんばる農家プラン支援事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		4,834	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	3,222	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,612	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	4,834	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	4,834

事業概要	意欲ある認定農業者等が自らの創意工夫を生かした生産・流通にかかる取り組みについて作成する計画を市の同意を経て県が認定し、その計画を実現するために必要な経費について補助金を交付するもの。
事業目的	事業概要と同じ
現状、背景	認定農業者等が更なる規模拡大が可能となり、地域農業の振興、活性化が図られる。
その他	通常の負担割合は 県 1/3、市 1/6、事業主体 1/2 だが、雇用増の伴う事業である場合は、正規雇用者 1 名につき 50 万の県費の嵩上げがある。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10732 多面的機能支払交付金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,770	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	2,077	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	693	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	2,770	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,770

事業概要	農地の多面的機能の発揮を促進する活動を行っている団体への交付金。
事業目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域活動に係る支援を行う。
現状、背景	近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住地化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10771 鳥取県農業士連絡協議会会費負担金
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		8	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	8	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	8	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	8

事業概要	地域における農業者の指導・援助に熱意があり、新規就農者の育成等に意欲的に取り組む農業者を市町村からの推薦によって鳥取県が指導農業士として認定している。県内指導農業士の相互連携及び研修を図るため組織されている鳥取県農業士連絡協議会（県協議会）の会費を公費負担する。
事業目的	県協議会は県内指導農業士の相互連携を深め、資質向上のための研修会開催、各種研修参加を行っており、指導農業士の積極的な活動を促すために年会費（1人あたり4,000円）の負担軽減を行うもの。
現状、背景	農家人口の減少が進む中、新規就農者の確保は喫緊の課題であるが、指導農業士は、新規就農者の育成及び地域農業振興において重要な役割を担っている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10841 戦略的園芸品目(白ネギ)総合対策事業
	目	3	農業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		721	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	480	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	241	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	721	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	721

事業概要	本市の特産野菜白ネギの産地強化を加速するため、数値目標を設定して計画的に規模拡大、作業効率化、経営安定化等の生産性向上に取り組む農家の機械導入に要する経費の一部を補助する。□ 農家の機械導入の補助については、認定農業者等が要件となることが一般的であるが、本事業は、要件を緩和して、認定農業者等ではない農家についても生産性の向上を図り産地としての底上げを図るもの。
事業目的	本市を含む県西部地域を白ネギの産地として強化を図るため、認定農業者に限定することなく、計画的に生産性向上に取り組む農家の機械導入を支援する。
現状、背景	鳥取県農業における最重要品目である白ネギについて、産地としての強化を進めるためには、認定農業者以外の農家についても、生産性の向上を図り、産地全体として生産力の底上げを図る。
その他	国の産地パワーアップ事業に該当するもの（５０万円以上の機械導入）は、国事業に県と市町村で上乘せを行う形で補助を行い、該当しないものについては、単県事業として補助を行う。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8325 農業用排水路管理事業
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,500	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,500	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,500	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,500

事業概要	農業用排水路の水利調整及び清掃等を実施する境港市農業用排水路管理調整協議会で行う清掃で発生する泥、草等の処分に係る経費。
事業目的	農業用排水路管理調整協議会で行う清掃で発生する泥、草等の処分。
現状、背景	農業用排水路の清掃は、営農を行う上での大切な作業の一つであるが、重労働であり、農家の高齢化により十分に実施できていない状況にある。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8326 土地改良施設整備事業
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		7,206	01 報酬	0	11 需用費	119	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	18	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	2,379	03 職員手当等	0	13 委託料	500	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	6,569	25 積立金	0
	一般財源	4,827	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	7,206

事業概要	農業経営基盤のうち、国の補助対象とならない、農道、水路の小規模改修、維持管理及び緊急を要する整備を行う。
事業目的	農業経営基盤のうち、国の補助対象とならない、農道、水路小規模改修、維持管理及び緊急を要する整備などに即応するため。
現状、背景	既存の農道、水路は老朽化が進んでいたり、管理が行き届いていない箇所が多く、年次的に改善が必要である。□水路からの吸出しにより、隣接道路が陥没する事態も多発している。□
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8892 鳥取県土地改良事業団体連合会負担金
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		135	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	135	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	135	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	135

事業概要	鳥取県土地改良事業団体連合会への負担金。
事業目的	農村地域の土地基盤整備並びに地域社会の開発を積極的に整備するため国、県と密接な連携のもとに事業の推進を図る。
現状、背景	鳥取県土地改良事業団体連合会への負担金を計上。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8910 西部土地改良事業推進協議会負担金
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	2	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2

事業概要	西部土地改良事業推進協議会への負担金。
事業目的	土地改良事業の促進並びに予算確保の陳情、土地改良事業に関する調査研究、情報の交換。
現状、背景	西部土地改良事業推進協議会への負担金を計上。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8916 鳥取県農業農村整備事業推進協議会負担金
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		24	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	24	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	24	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	24

事業概要	鳥取県農業農村整備事業推進協議会への負担金。
事業目的	農業農村整備事業に関する調査、研究、情報交換等を行い、事業の積極的かつ円滑な推進を図る。
現状、背景	鳥取県農業農村整備事業推進協議会への負担金を計上。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8935 米川水利用調整事業補助金
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5,886	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	4,414	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,472	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	5,886	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	5,886

事業概要	国営事業で造成した農業用水路である米川は、農業のためばかりでなく、地下水涵養や散策路、景観等多面的な機能も有しており、この多面的機能に対して国、県、市で維持管理費の一部を助成する。
事業目的	農業用水利施設の多様な管理に対応するため、土地改良区の管理体制を整備することにより、水利用の合理化を図り、弓浜半島の地域の水不足の緩和や干拓地の水源の確保につなげる。
現状、背景	国営事業で造成した施設の維持管理費を行っている土地改良区への助成。□近年構造物の老朽化が目立ち、維持管理費が増加している。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	8940 農業用排水路管理調整協議会補助金
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		600	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	600	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	600	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	600

事業概要	農業用排水路の水利調整及び清掃等を実施する境港市農業用排水路管理調整協議会に対する助成。
事業目的	天災予防と効率的水利用を図るための農業用排水路の維持管理。
現状、背景	農業用排水路の清掃は、営農を行う上での大切な作業の一つであるが、重労働であり、農家の高齢化により十分に実施できていない状況にある。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10262 農業用排水路清掃事業
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,950	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,950	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,950	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,950

事業概要	農家数の減少、高齢化等により、農事実行組合等での清掃等が困難となった農業用排水路について、要望箇所を集積し清掃を行う。
事業目的	農家数の減少、高齢化等により、農事実行組合等での清掃等が困難となった農業用排水路を清掃し、今まで通水排水不良により耕作が困難だった農地の再生を目指す。□
現状、背景	農業用排水路の清掃は原則農家で行ってもらっているが、農家数の減少、高齢化等により、農事実行組合等での清掃等が困難となった農業用排水路が市内各所にあり、通水排水不良により耕作放棄地となった農地がある。
その他	市内農用地区域を３区域に分け、H27～H29で３区域の清掃をローテーションで行った。現在ローテーションの２周目を行っている。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10674 中海干拓地土層改良事業補助金
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		13,000	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	13,000	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	13,000	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	13,000

事業概要	中海干拓地において不良土層を解消し、高収益作物への転換を図ることを目的として土層改良事業を行う（公財）鳥取県農業農村担い手育成機構に対する補助金。
事業目的	高収益作物への転換を図る目的で土層改良事業を行う（公財）鳥取県農業農村担い手育成機構に対して補助金を支給し、地域農業の振興に寄与する。
現状、背景	市内農業振興地域の最大集積地である中海干拓地は、長年にわたる大型農作業機械を使用した営農により、基盤土に堅密な層（耕盤層）が生じているため、作物根の伸長不良等の支障が生じている。
その他	この事業は、国の耕作条件改善事業を活用した取り組み。□国５０％、県２０％、市２０％、実施主体１０％の負担割合で事業費を負担している。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10686 荒廃農地等利活用促進交付金
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		840	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	420	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	420	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
補助割合の変更□ 国 1/2、県 1/4、市 1/2 ⇒ 県 1/2、市 1/2			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	840	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	840

事業概要	農振農用地区域内の農地において、農業者や農業者組織等が荒廃農地を引き受けて、作物生産を再開するために行う、再生作業等の取り組みに対し支援を行う。
事業目的	境港市内の荒廃農地の解消と、農業生産の基盤である農地の確保及び有効利用を図る。
現状、背景	平成２９年の調査によると、境港市内には約２０４haの耕作放棄地が存在しており、周辺耕作地の営農の障害になっているほか、景観・防犯等の問題も挙げられている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10708 ストップ荒廃農地支援事業
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		400	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	400	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	400	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	400

事業概要	農業振興区域の農地において、農業者や農業者組織等が荒廃農地を引き受けて、作物生産を再開するために行う比較的簡易な再生作業等の取り組みに対し支援を行う。
事業目的	境港市内の荒廃農地の解消と、農業生産の基盤である農地の確保及び有効利用を図る。
現状、背景	平成２９年の調査によると、境港市内には約２０４haの耕作放棄地が存在しており、周辺耕作地の営農の障害になっているほか、景観・防犯等の問題も挙げられている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	農 業 費	20 商工農政課	10814 農地耕作条件改善事業
	目	4	農 地 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		33,000	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	24,750	03 職員手当等	0	13 委託料	3,510	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	29,490	25 積立金	0
	一般財源	8,250	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	33,000

事業概要	農振農用地域域において、耕作放棄地など農地利用が低い農地に対し、再生事業をはじめとする基盤整備を行い、耕作条件の改善を図る。
事業目的	市内の耕作放棄地の解消と、優良農地の確保及び担い手農家への農地集積・集約を推進する。
現状、背景	市内には約２００haの耕作放棄地が存在しており、農業振興の大きな障害になっているほか、景観・防犯上の問題も挙げられている。また規模拡大を目指す若手農業者等への優良農地の確保は喫緊の課題となっている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	林 業 費	20 商工農政課	8331 西部地区野鳥巣箱コンクール協賛金
	目	1	林業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		4	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	4	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	4	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	4

事業概要	<p> 巣箱コンクールへの協賛。境港市長賞として2点を選び、作成者に図書カード 2,000 円分と賞状を贈呈する。 </p>
事業目的	<p> 巣箱コンクールを通じて、小中学生の自然への関心を高める。□ </p>
現状、背景	<p> 境港市内の小中学校からは巣箱の出品数が少ない。 </p>
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	林 業 費	20 商工農政課	8332 市民の山管理事業
	目	1	林業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,044	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	225	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,044	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	1,819	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,044

事業概要	日南町の市民の山に S57～S62 に植栽したスギ、ヒノキの除伐、間伐、枝打ち等を行い、植栽林の保育を推進する。
事業目的	日野郡日南町の市民の山の植栽林について、適切な管理を行い、水源涵養林としての機能を保つ。
現状、背景	スギ、ヒノキの育成が進んでいるが、山の機能を保つために引き続き管理をすることが必要。平成 29 年 8 月に日南町森林組合と森林経営委託契約を締結し、森林経営計画に基づき、計画的に森林施業を実施することができるようになった。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	林 業 費	20 商工農政課	8333 松くい虫駆除事業
	目	1	林業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		500	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	105	03 職員手当等	0	13 委託料	500	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	395	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	500

事業概要	境港市内の指定区域の保安林、防風林など、地域にとって機能性の高い松林、公益性の高い箇所にある松くい虫被害木について、伐倒駆除を行い、松くい虫被害の蔓延を防止する。
事業目的	松くい虫被害木を伐倒駆除することにより、被害拡大を防止し、松林機能の保全を図る。
現状、背景	秋に駆除を行っているが、毎年被害が発生しており、継続して駆除事業を行っていくことが必要。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	林 業 費	20 商工農政課	8949 鳥取県治山林道協会会費
	目	1	林業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		10	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	10	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	10	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	10

事業概要	鳥取県治山林道協会会費
事業目的	治山事業を積極的に推進するため、国県等に対して、予算獲得の請願陳情を行い、治山事業の技術向上を図る。
現状、背景	治山事業を積極的に推進するため、国、県等に対して予算獲得の請願陳情、技術向上を図るための講習会、研修会を行っている。 □
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	林 業 費	20 商工農政課	8957 林業労働者福祉向上推進事業負担金
	目	1	林業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		120	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	120	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	120	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	120

事業概要	林業労働者福祉向上推進事業負担金
事業目的	林業労働者の生活安定と福祉の向上を推進し、林業労働者の安定的確保を図る。
現状、背景	林業労働者の減少・高齢化が進む中で、就労条件を整備し、林業労働者の育成確保を行う必要がある。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	林 業 費	20 商工農政課	8964 鳥取県緑化推進委員会会費
	目	1	林業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		70	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	70	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	70	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	70

事業概要	鳥取県緑化推進委員会会費
事業目的	緑の募金を用いて、緑化の推進、森林の整備及び、これらに係る協力関係の推進を図る。
現状、背景	緑の募金交付金を用いて、学校や地域の緑化活動が行われている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	林 業 費	20 商工農政課	8970 枯松伐採促進事業補助金
	目	1	林業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		200	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	200	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	200	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	200

事業概要	境港市の指定区域外の松くい虫被害木及び、個人の庭の枯松を、所有者及び管理者が伐採した際に補助を行う。
事業目的	枯松伐採の促進を図り、松くい虫被害の蔓延を防ぐ。
現状、背景	指定区域外の松くい虫被害木及び、個人の庭の枯松については、所有者及び管理者個人での伐採となるため、伐倒駆除の費用の一部を補助して、伐採を促進している。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	林 業 費	20 商工農政課	10690 行こう！市民の山ふれあい交流事業
	目	1	林業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		73	01 報酬	0	11 需用費	65	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	73	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	8	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	73

事業概要	広く市民から参加者を募集し、日南町の境港市民の山でウォーキングイベント等を開催する。
事業目的	イベントを通じて、市民の山を身近に感じてもらうとともに、本市が所有する水源かん養林について理解を深めてもらい、引き続き市民の山を所有し、山・森林を守るため計画的に適切な森林施業を行うことについて理解を得る。
現状、背景	S58～S63 年度に掛けて市内小学校の植樹体験事業を実施していたが、現在では、自治会等の視察にとどまっており、市民の山に対する認知度は低い。
その他	山と言える山がなく、平坦な土地柄である本市が水源涵養林を所有することの意義、多くの恵みをもたらす山と人の生活との深い関わりを再考する機会とする。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	8334 水産総務事務費
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		504	01 報酬	0	11 需用費	75	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	7	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	504	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	422	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	504

事業概要	境港市の基幹産業である水産業の振興のため、水揚量確保・増加を目的としたトップセールス、中央への要望活動、関係機関との水産業の抱える諸問題の協議、情報収集を行っている。
事業目的	境漁港の生産力維持、関係機関との連携に取組み水産業の振興を図る。
現状、背景	境漁港における水揚量はピーク時の５０万トン以上から１０～１５万トンの水揚量に大きく減少しており、境漁港への水揚の大部分を県外船が占めている。□このような状況において境漁港への県外船の水揚の確保と新たな誘致は必要不可欠である。□また水産業の抱える問題は多岐にわたり、その解決には関係機関との連携が重要となっている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	8335 渡漁港施設維持管理事業
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		691	01 報酬	0	11 需用費	162	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	256	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	273	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	499	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	192	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	691

事業概要	渡漁港防波堤標識灯の点検及び消耗部材の交換を実施。□また、平成 28 年度に新漁港の整備に伴い、照明灯や港湾設備の電気代や修繕費及び設備の維持管理・清掃等の業務委託費が追加となる。
事業目的	渡漁港の機能維持のため渡漁港防波堤標識灯の点検及び消耗部材の交換を実施し、航行の安全を図る。□また、平成 28 年度から新漁港の港湾設備等の維持管理等も適切に実施している。
現状、背景	漁港改修事業渡漁港防波堤は中海からの波浪を防ぐため設置されている。□漁港利用船の安全な入港のため、防波堤の右舷と左舷に標識灯が設置されており、計画的な点検と消耗部材の交換が必要。h29 は設置後 12 年経過した灯ろう内部機器の交換も行った。
その他	平成 28 年度に完成した新漁港には、照明灯や船を引き揚げるためのウインチ、船を洗浄するための高圧洗浄機などが整備されている。また、それらの設備を保管するウインチ小屋も建築された。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	8337 海岸緑地トイレ管理費
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		280	01 報酬	0	11 需用費	114	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	4	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	109	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	53	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	280	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	280

事業概要	相生町の海岸緑地トイレの維持管理を行う。□主な支出としてはトイレトペーパー等消耗品購入費、光熱水費、下水道使用料、清掃委託費。
事業目的	海岸緑地トイレの機能維持により漁港区域の環境向上を図る。
現状、背景	漁港区域の環境向上を目的として設置され、漁業者をはじめ、最近では観光客の利用も増加している。
その他	平成 29 年 11 月 16 日下水道に接続し、浄化槽を撤去。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	8989 海上保安協会会費
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		60	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	60	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	60	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	60

事業概要	海難防止活動、海洋環境保全推進活動、海上保安業務の普及活動等を行う協会への会費。□
事業目的	海難防止活動等の海上保安業務の改善発展に寄与することを目的とする。
現状、背景	海上保安協会の主な事業内容□海難防止活動事業：海難防止講習会の開催、海上保安指導員との合同パトロール等□海洋環境保全推進活動事業：小学生に対する環境教室等
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9004 境港水産加工污水处理公社会費
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	5	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	5	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	5

事業概要	污水处理施設の適正な管理運営を図る境港水産加工污水处理公社への会費。
事業目的	水産加工污水处理施設の適正な管理運営により水産加工処理場からの汚水の安価で安定的な処理を実施。□地域経済の安定と周辺環境の改善を目的とする。
現状、背景	境港水産加工污水处理公社では昭和町水産加工団地内の水産加工污水处理を行っており、水産加工業の発展に寄与している。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9005 鳥取県港湾・漁港協会会費
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		155	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	155	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	155	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	155

事業概要	港湾・漁港の整備促進や振興についての活動を行う協会への会費。
事業目的	漁港施設の総合利用整備促進、発展をもとに漁業者の生活安定を図る。
現状、背景	県内における港湾・漁港・漁場・漁村の整備促進に取り組んでいる。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9008 境港清港会分担金
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		242	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	242	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	242	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	242

事業概要	港湾、漁港区域の清掃及び啓発活動等の環境美化活動を実施する境港清港会への分担金等。
事業目的	境港清港会の活動を支援することにより、港湾・漁港区域の環境整備の促進を図る。
現状、背景	鳥取・島根両県の港湾・水産関係者により組織されている境港清港会は、港湾区域及び漁港区域内のゴミ 投棄や水質汚濁防止の運動を展開するとともに、清掃船による清掃を実施している。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9019 水産都市協議会分担金
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		7	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	7	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	7	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	7

事業概要	28 道府県、74 市の水産都市が加盟しており、直面する諸般の問題の解決及び解決への要望等を行う水産都市協議会への分担金。
事業目的	水産関係都市が直面する諸般の問題に対処し、これらの解決を図るため具体的方策を推進する。
現状、背景	水産関係都市が直面する諸問題の解決や漁港整備等の予算確保の為の具体的方策を協議する。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9022 特定第三種漁港市長協議会会費
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		80	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	80	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	80	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	80

事業概要	日本水産業を代表する全国 13 漁港の特定第三種漁港を持つ市が諸問題に対し連携して解決を図る特定第三種漁港市長協議会への会費。
事業目的	特定第三種漁港としての役割を果たすべく関係漁港の持つ諸問題に対し連携して解決を図る。
現状、背景	水揚量の減少、担い手の高齢化、施設・漁船の老朽化と諸漁港を取り巻く環境は厳しく、この問題解決に特定第三種漁港各市が連携して取組む。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9025 鳥取県水難救済会会費
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		10	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	10	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	10	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	10

事業概要	（公社）日本水難救済会及び境海上保安部等と密接に連携し、水難の予防へ取り組む鳥取県水難救済会への会費。
事業目的	鳥取県の水域における水難の予防と水難による人命、船舶及び積荷を救済し、もって海上産業の発展と海上交通の安全並びにマリレジャーの振興に寄与する。
現状、背景	鳥取県の海岸線の各所に救難所を設置し救難活動を実施するほか、訓練及び研修を行い、水難事故の防止に取り組んでいる。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10358 県施行漁港改修事業地元負担金
	目	1	水産業総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		12,000	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	12,000	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	12,000	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	12,000

事業概要	平成２６年３月に水産庁から提示された「境港高度衛生管理型漁港・市場の整備構想」に基づき、鳥取県が境漁港及び卸売市場を整備するのに伴う地元負担金。
事業目的	災害に強く、流通の拠点となる防災対応型漁港の整備と消費者の「安心・安全」のニーズに対応した高度衛生型市場を整備し、水産物の安定的な供給が出来る力強い水産業を推進する。
現状、背景	全国有数の漁港であるが、防災対策や衛生管理で課題が上がっている。
その他	整備計画期間は、平成２６年度から平成３５年度までの１０年間。□高度衛生管理に対応した係留施設の整備に係る地元負担率を３％と決定。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	8340 栽培漁業推進事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		262	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	262	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	262	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	262

事業概要	美保湾地域における栽培漁業の推進のため、鳥取・島根両県の漁業者、行政で連携し諸問題について協議を行う。平成 25 年度まで試験的に実施していた「ヒラメの放流」を平成 26 年度から本格実施。
事業目的	美保湾地域における栽培漁業の推進に関する事項等を協議して栽培漁業の定着化を促進し、美保湾地域における漁業生産の安定向上を図る。
現状、背景	本格実施となった平成 26 年度は 3 万尾の放流を行い、全国的にも優秀な 10%を超える回収率を残した。この結果を受け、平成 27 年度からは国の交付金(広域種資源造成型栽培漁業推進事業)を活用し、放流尾数を 6 万尾に増やして実施している。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	8341 魚食普及推進事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		317	01 報酬	0	11 需用費	317	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	317	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	317

事業概要	各種イベントにて、かに汁、いわしつみれ汁等のふるまいを実施。□
事業目的	魚食イベントによる魚食の普及と水産物消費拡大を図る。
現状、背景	食生活、食文化の変化による魚食離れが著しいため、集客力のあるイベントを利用して魚食の普及を推進する。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	8343 漁業金融対策事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		10,000	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	10,000
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	10,000	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	10,000

事業概要	市内漁業者への円滑な融資を図るための鳥取県信用漁業協同組合連合会への預託金
事業目的	市内漁業者への融資の円滑化を図る。
現状、背景	水産業を取り巻く環境は資源の減少、魚価安、燃油高騰等の影響により大変厳しいため、円滑な融資が行われるよう支援する。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9027 船員災害防止事業補助金
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		50	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	50	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	50	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	50

事業概要	海難及び船上での事故防止のため船員災害防止協会が実施する船員災害防止活動を支援する。
事業目的	境港の基幹産業である水産業において船主、船員の安全意識を高揚させ船員事故、疾病等を予防し、水産業の安定的な発展を目的とする。
現状、背景	漁船員の高齢化をはじめ、資源減少による操業時間の長時間化により集中力が切れるなどして災害が生まれやすい状況となっている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9031 境港水産振興協会漁業情報サービス部補助金
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		120	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	120	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	120	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	120

事業概要	漁業情報提供、統計業務を実施する（一社）境港水産振興協会漁業情報サービス部へ補助を行う。
事業目的	漁業情報サービスセンターの協力を得て、境港水産業を中心に漁業情報提供、統計業務を実施する。
現状、背景	水産関係機関を中心に漁獲日報、月報及び年報等の情報をいち早く提供する。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9069 地域漁海況情報サービス事業負担金
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		320	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	320	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	320	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	320

事業概要	全国に4箇所しかない漁業情報サービスセンター出張所の維持のための負担金。
事業目的	中西部日本海域での魚海況情報等のデータ提供により漁獲量の安定と効率的な漁獲が可能。
現状、背景	日本海中西部海域でのほぼ10日先の魚海況短期予報を水産関係機関を中心に提供する。□漁業情報サービスセンターの出張所は道東出張所、東北出張所、境港出張所、九州出張所の4箇所に設置されている。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9089 境港水産まつり補助金
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		650	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	650	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	650	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	650

事業概要	境港における水産業界最大のイベント「境港水産まつり」への支援。
事業目的	境港水産業の永続的な発展を念願し、消費者へ水産物に対する理解を深めてもらう。
現状、背景	10月に行われる境港水産まつりは境港における水産業界最大のイベントであり、県内外から多数の参加者が訪れる。水産物、魚食のPR推進に多大な影響を与えている。□平成30年度の来場者数は約4万人。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9424 漁業緊急保証対策事業補助金
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		25	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	25	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	25	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	25

事業概要	鳥取県は景気の悪化、燃油・資材の高騰や魚価安等の影響から資金繰りに窮している中小漁業者等の資金繰りを円滑にするために、国が実施する「漁業緊急保証対策事業」に合致した制度資金の創設と利子補給を行っている。□ 境港市としても円滑な融資が行なわれるよう、融資の際に必要な保証料の一部助成を実施する。
事業目的	景気の悪化、燃油・資材の高騰や魚価安等の影響から資金繰りに窮している中小漁業者等の資金繰りの円滑化を目的として、漁業経営財務基盤強化緊急対策資金を利用する漁業者への保証料の一部助成を行う。
現状、背景	景気の悪化、燃油・資材の高騰や魚価安等の影響から資金繰りに窮しているが、現在ある制度資金は利用しにくい。□ そこで国・県・市が連携して、利用しやすい新資金を創設し、漁業者は低利で無担保、保証料も低利な融資を受けることにより経営基盤を安定化することができる。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9487 境港地域資源活用推進事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		650	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	650	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	650	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	650

事業概要	境港産クロマグロの知名度向上、販売拡大を図ることを目的として地域関係者で組織する「境港天然本マグロPR推進協議会」が取組むPR活動などクロマグロの付加価値向上に対する取り組みへの支援。
事業目的	<p>クロマグロは水揚げの減少する夏場に水揚げされ境港水産界において重要な魚種である。□この境港産クロマグロと競合する蓄養生マグロ、冷凍マグロとの差別化による境港産クロマグロの知名度向上、販路拡大を目的とする。また、まき網漁業が行っている資源管理の現状を正しく理解してもらうため、資源管理についての取り組み状況を広くPRするとともに、漁獲規制に伴う漁獲量減少に対応するため、量から質に転換するクロマグロの付加価値向上に取り組む。</p> <p>□</p>
現状、背景	境港産クロマグロは夏季の国内市場における重要な位置を占めており、市場での蓄養生マグロの増大の中で「天然、生、資源管理」で境港産クロマグロのPRを行い、クロマグロを境港市の地域観光資源として活用するため、平成23年度から「まぐろ感謝祭」を開催している。□
その他	h27年からWCPFCにより小型魚(30kg未満)の漁獲を2002年～2004年までの年間平均漁獲水準の半減にする措置が合意され、併せて大型魚(30kg以上)も、2002年～2004年までの年間平均漁獲水準を超えないよう管理することとなった。これを受けて大中型まき網漁業では、小型魚は2000tを上限に、大

	型魚は日本海側では 2000 t のところを、200 t 少ない 1800 t に自主制限し、さらに 8 月の操業を自粛している。
--	---

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9782 漁船災害復旧対策資金利子補給金
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		16	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	16	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	16	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	16

事業概要	平成 22 年 12 月 31 日から平成 23 年 1 月 1 日かけての記録的な集中豪雪により被害を受けた漁業者が、借り入れた漁業経営財務基盤強化緊急対策資金への利子補給。
事業目的	記録的な豪雪により被害を受けた漁業者に対して漁業経営財務基盤強化緊急対策資金の利子補給を行い、負担の軽減を図る。
現状、背景	被害を受けた漁業者の中には漁船の修復経費等に多額の経費がかかる漁業者も多い。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	9902 境港お魚ガイド活動支援事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5,064	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	2,531	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,533	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	5,064	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	5,064

事業概要	日本海側拠点港である境漁港とそこで水揚げされる豊富で新鮮な魚介類を地域・観光資源の一つととらえ、お魚ガイドによる境漁港見学ツアー及び各種魚食普及活動、水産業PRの担い手育成等を行う団体への支援。
事業目的	境漁港見学ツアー、各種魚食普及活動、市場情報発信、水産業PRの担い手育成等を実施により、産地境港の知名度向上ならびに水産物の消費拡大を図る。
現状、背景	境漁港見学ツアー、担い手育成事業は平成21年度から、市場情報発信事業は平成22年度からふるさと雇用再生特別交付金を活用し事業開始。それぞれの事業を一本化し、平成24年度から「境港お魚ガイド活動支援事業」を実施している。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10114 フィッシュ・キッチン推進事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		144	01 報酬	0	11 需用費	144	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	18	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	126	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	144

事業概要	<p>保育園（所）・幼稚園の年長児を対象とした「フィッシュ・キッチン」、小学生を対象とした「出前フィッシュ・キッチン」など、鮮魚をさばき「命」に触れる体験を行い、幅広い世代に魚食の大切さを伝える。□ 魚に関心を持ってもらうため、「おさかな探検（境漁港の見学）」も実施する。</p>
事業目的	<p>「フィッシュ・キッチン」を通して、鮮魚をさばき「命」に触れる体験を行い、魚食の大切さを伝え、魚離れに歯止めをかける。</p>
現状、背景	<p>平成 21 年度から、小学生以下を対象に「親子おさかな教室」を開催（4 回/年）し、学習と料理を組み合わせることで、効果的に目的を達成することができた。平成 25 年度から、新たに保育園（所）・幼稚園で行う「フィッシュ・キッチン」を中心として、幅広い世代に魚食の大切さを伝える。</p>
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10180 水産加工品ブランド化事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,411	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,411	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	2,411	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,411

事業概要	平成 24 年度に設立された「境港市産地協議会」への補助金。□「産地境港」を全国情報発信するため、首都圏・関西方面を中心としたイベントに参加し、境港の水産物や水産加工大賞の商品の P R、ポスター・冊子などの作成、「みんなで選ぶ境港の水産加工大賞」の開催などを行う。□また、境漁港の衛生管理型漁港・市場整備に伴い、先進地視察調査なども実施する。
事業目的	「産地境港」を広く全国情報発信するため及び消費者等のニーズにあった新しい漁港の整備について検討する。
現状、背景	水産庁の産地水産業強化支援事業の交付先として、平成 24 年度に「境港市産地協議会」を設立。汚水処理施設の改修工事、水産加工大賞の商品の P R による「産地境港」を全国情報発信した。□平成 27 年度からは、水産庁の交付金はなくなるが、鳥取県が産地境港の P R 及び先進地視察調査の実施に対し、対象経費の補助を行っている。
その他	平成 30 年度は、「境港のカンタン時短ベニズワイガニレシピ」を 4000 冊作成し、山陰地方を中心に配布。また、「大山開山 1300 年祭」の P R と併せ、首都圏の百貨店で紅ズワイガニの試食販売を実施し、紅ズワイガニや境港の P R を行っている。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10553 水産多面的機能発揮対策事業費負担金
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		81	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	81	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	81	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	81

事業概要	藻場・水辺の保全、食害生物の除去などによる環境・生態系の保全などの活動を行う漁業者に対し、国及び地方(県・市町村)が費用負担することで支援する。□
事業目的	環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する海域の活動を支援するため。
現状、背景	世界レベルでの環境汚染、環境破壊、乱獲などにより、海の環境や生態系にも大きな影響が生じている。□鳥取県内でも当該事業を活用した藻場造成・海岸清掃等を平成 25 年度から始めている。これまでは、国が 1/2 負担していたが、藻場保全及び海浜海上清掃については、地方の財政負担がないと国の補助が受けられない制度となった。
その他	補助メニューは、藻場保全、海浜海上清掃、国境警備、海難救助訓練、教育啓発があり、このうち、藻場保全と海浜海上清掃が地方負担が補助要件となった。境港は、藻場保全を実施している。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10554 魚体選別機(セクター)利用促進補助金
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		300	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	300	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	300	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	300

事業概要	魚体選別機(セクター)利用者使用料の一部を市が負担することで、利用促進を図る。□現在の使用料は、漁獲物 1kg につき 10 円であるが、県と市が 1 円ずつ負担し、8 円に減額する。□市は荷受業者に負担金を支払う。
事業目的	利用者使用料の減額を行うことにより、利用率を向上させるため。
現状、背景	平成 23 年 12 月に鳥取県が魚体選別機(セクター)の導入後、選別を必要としない魚種やサイズの水揚げが多くなり、利用率が低下している。
その他	現在：利用者である漁業者が 10 円を荷受業者(稼働者)に払い、荷受業者は手数料 7 円を除く、3 円を市場管理(県)に支払っている。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10568 漁業就業者確保対策事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		36,708	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	30,917	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	5,791	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	36,708	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	36,708

事業概要	平成２７年度まで漁業の研修事業である「漁業就業チャレンジ体験トライアル」「漁業雇用促進対策事業」「漁業担い手育成研修事業」を一本化。□この事業の中に、雇用型研修（１年以内）と独立型研修（３年以内）の２部門を設け、自由度の高いより実践的な研修計画に対応する。
事業目的	新規就業希望者に漁業技術や経営方法等を習得するための研修を行う漁協等に対して、研修に必要な経費を助成することにより、漁船員等の円滑な確保及び漁業への新規参入の促進を図る。
現状、背景	漁業の担い手は年々減少しており、大きな課題となっている。県全体の問題として、平成２７年度まで鳥取県の研修事業として「漁業就業チャレンジ体験トライアル」「漁業雇用促進対策事業」「漁業担い手育成研修事業」がそれぞれ事業としてあり、市もその事業を受け事業費の一部を負担している。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10644 高度衛生管理型市場移行円滑化事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3,193	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	3,193	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	3,193	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	3,193

事業概要	境漁港の高度衛生管理型市場へ移行するに辺り、円滑に移行が出来るように、必要となる備品等の整備費用の一部を補助する。
事業目的	境漁港の高度衛生管理型市場へ移行するに辺り、円滑に移行が出来るように、必要となる備品等の整備費用の一部を補助する。
現状、背景	高度衛生管理型市場では、現在使用している木製の魚箱・パレットやフォークリフトなどは使用出来ないため、プラスチック製の魚箱・パレット、電動フォークリフトなどが必要となる。それらを整備するには多額の費用が必要となる。
その他	

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10743 外国人技能実習生地域交流事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		424	01 報酬	0	11 需用費	100	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	300	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	424	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	24	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	424

事業概要	境港市内で長期滞在する外国人（技能実習生など）の地域住民などとの交流を促進するため、地域における公民館活動や地区運動会、高齢者ふれあいの家、婚活イベント等への参加を促進し、参加に必要な通訳などの経費の一部を助成する。□平成30年度は新年交流会を1回実施。
事業目的	境港市内で長期滞在する外国人（技能実習生など）の地域住民などとの交流を促進し、日本文化への理解、日本語能力の向上、円滑な地域生活を図るとともに、境港の魅力を伝え、技能実習生に境港で働きたいと選んでもらえる地域となるよう、受入企業・行政が連携して交流事業を実施する。
現状、背景	市内で外国人技能実習生として働く人は、244人(h29.1.25現在)、うち、121人がベトナム、75人が中国、39人がインドネシアとなり全体の96%を占めている。そのほとんどが水産業関係。□水産業関係では、人手不足が深刻であり、145人(h29.8.16現在)もの求人がある。
その他	ベトナム人技能実習生だけでも日本に年間数万人が来ている。年々増加し、今後は受入先の地域を技能実習生の側が選ぶ時代となってきた。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10801 沖合底びき網漁船代船建造推進事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3,647	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	2,431	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,216	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	3,647	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	3,647

事業概要	基幹漁業の一つである沖合底びき漁業の安全操業や漁業効率の向上等のため、老朽船の代船建造に対し、鳥取県と共に支援する。
事業目的	沖合底びき網漁業の老朽船の代船建造に対し、鳥取県と共に支援することで、安全操業や漁業効率の向上等を図る。
現状、背景	h28.12.14 境港に水揚げする沖合底びき漁船が美保関沖で沈没する事故が発生、その原因として、船の老朽化も懸念されているが、国の補助制度では時間がかかるため、鳥取県が独自で補助制度を創設した。□
その他	沖合底びき漁船は、県東部が中心だが、平成 30 年度に県東部から境港に基地を移す漁船が現れた。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10806 もうかる漁業実証操業支援事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		30,000	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	20,000	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	10,000	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	30,000	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	30,000

事業概要	国の「もうかる漁業創設支援事業」を活用して建造された、べにずわいがに漁船を用いて行う実証操業において、船主が負担する額の一部を３年間市と県が補助する。□
事業目的	国の認定を受けた「境港地域水産業構造改革推進プロジェクト改革計画（べにずわいがに②）」に基づき建造した新船の、洋上及び陸上での生産品質向上と販路開拓というコンセプトを実証するため、実証操業を実施。新船建造により漁業経営の改善及び安定化を図る。
現状、背景	日本海べにずわいがに漁船の高船齢化が進み、代船の取得が急務となっている。
その他	今回の代船建造は、h27.12 国の計画認定、h28.3 建造開始、h29.3 新船完成、h29.4 から実証操業を開始している。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10808 中野港漁師と園児の交流事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		186	01 報酬	0	11 需用費	186	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	92	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	94	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	186

事業概要	地元美保湾の沿岸漁業基地である中野港の漁師が水揚げする風景を、市内の保育園・幼稚園児が見学し、魚や漁のことを漁師と交流して学ぶ。□また、水揚げされた魚を園児が各家庭に持って帰り、保護者と一緒に調理して食べることで、魚食普及や食育の推進を図る。
事業目的	沿岸漁業である中野港で園児が漁師から水揚げされた魚のことなどを学び、魚や漁業をより身近に感じることで、魚食普及や食育の推進、地元愛を育む。
現状、背景	これまで、全国有数の漁港である境漁港の見学は行っていたが、より身近な沿岸漁業を見学する機会はなかった。平成 29 年度に中野港漁村市実行委員会が鳥取県の交付金を活用し、試験的に市内 3 つの保育園が交流事業を実施。園児・保護者から好評で、ぜひ来年以降も続けて欲しいとの声が多かった。
その他	中野港漁村市実行委員会では、沿岸漁業を知る機会として、中野港漁村市を 5 年前から開催し、毎回県内外から多くの来場者がある。担い手不足が深刻な課題となっている沿岸漁業の中で、漁業者が主体的に活動する中野港では、若い漁業者が少しずつ増え、活気がある。

会 計	款	6	農林水産業費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	水産業費	50 水 産 課	10871 境港中継基地冷蔵庫施設更新支援事業
	目	2	水産業振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		387,100	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	387,100	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	387,100	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	387,100

事業概要	昭和 52 年境漁港東側に鳥取県漁業協同組合が整備した「境港中継基地冷蔵庫」を更新し、ギンザケの生産量増加などに対応する。更新するため、国の水産業強化支援事業を活用する。□□
事業目的	「境港中継基地冷蔵庫」を更新し、ギンザケの生産量増加などに対応する。□
現状、背景	ギンザケの養殖が本格化し、増産を計画しているが、大規模な冷蔵設備が不足しているため、計画が進まないでいた。「境港中継基地冷蔵庫」は昭和 52 年に整備され、老朽化が進み、現在は一部分のみ使用している状況。□
その他	ギンザケ保管以外にも、沿岸漁業者などが一部使用している。

